釧路短期大学ふぞく幼稚園（3学期）アンケート

76世帯中27世帯が回答をして下さいました。（回収率35％）

Q1. 当園は、子ども達が『明日も幼稚園に行きたい』と言ってもらえるような園を目指していきたいと考えています。

1. 休みの日でも幼稚園に行きたがった。（冬休み中も行きたがった）　・・・ 6
2. 毎日幼稚園に行きたがった。（登園を渋る、嫌がることはなかった）　・・・ 8
3. ほぼ毎日幼稚園に行きたがった。（ごく稀に嫌がることがあった）　・・・ 9
4. 時々幼稚園に行きたがらなかった。（2～3週に1回～2回）　・・・ 3
5. 結構幼稚園に行くのを渋った、嫌がった（1週間に1度）　・・・ 1
6. とても幼稚園に行くのを渋った、嫌がった（週に何度も）　・・・ 1
7. 幼稚園に行かせるのが大変だった（泣いたり、強く拒んだりした）
8. その他　・・・ 2

- 4ですが、行くととても楽しそうにしています。
- 5ですが、休みの日を常々心待ちにしている。
- 行くのを渋ったり、こちらも大変だった記憶は無いですが、行きたがったという記憶も無いです。

Q2. 3学期の行事について

1. このまま継続して欲しい・良かった点　・・・ 6

スケート保育・・・5

- バスでの送り迎えをして頂けて助かりました。車を主人が使う場合があり、送り迎えをして頂けて安心して参加できました。
- 小学校に行ってもスケートの授業があるので継続して欲しいです。
- 小学校でもスケートの授業はあるので、幼稚園から教えてもらえて良かった。
- 子どもの成長を感じることが出来ました。仕事の都合で一緒に参加出来なかったこともあるのかもしれませんが、『スケート楽しくない』と言っていましたが、先生やお手伝いの方のおかげで「スケート楽しいよ。ママがいなくてもがんばれたよ」と話してくれました。
- みんなでスケートをする姿が楽しそうだった。

雪中運動会・・・1

- 子どもが楽しかったと言っていました。

小学校1日入学・・・1

- 実際に学校に行くことによって小学校の具体的な体験をすることは子ども達にとって安心や楽しみを感じることが出来るので良いと思う。

すもう大会・・・4

- 子ども達の勝ちたい気持ちと、負けた時の悔しさを次に向ける子、泣いてしまう子。
  子ども達の様々な表情をみることが出来、見ているこちらも涙が出てきました。
  最後に先生との対戦で全員が勝つ喜びを体験できる幼稚園の配慮にも感動しました。
  いつも子ども達のことを考えて下さりありがとうございます。
- 皆の気合（特にぱんださんやきりんさん）が感じられた。嫌がる子もいたうさぎ組（笑）からの成長もとても伝わってきた。
- 子どもがとても楽しんでいました。

観劇・・・3

- 子どもの反応。本物をみることの素晴らしさ。

・　子どもがとても楽しんでいました。
・　とても子ども達が喜んで見ていた。
・　大人も見ていて楽しかった。帰宅後早速新聞で玉をとばす練習をしていました。

お別れ会・・・1

・　子どもが家に帰ってきて、嬉しそうに話をしていたので。
・　子どもが「とっても楽しかった！！」と言っていました。「焼きそばもおかわりしたし、お肉もたくさん、たくさんたべたよ！」と特別な日が嬉しかったようです。

全て・・・1

クッキング・・・1

・　子どもが食べ物にとても興味がでた様子で、家でもお料理するのを手伝ってくれたり、苦手な野菜も自分が調理に加わったことで少し食べられるようになりました。

【幼稚園感想】

・　保護者の皆様にもふぞくの行事の『ねらい』である、まずは楽しく、そしてその土台に少しずつ大切なことを教えていく、感じてもらうというのが伝わっているのを感じ大変嬉しく思うと同時に今後も子ども達のことを第一に考えながら行っていきたいと思いました。

2. 改善して欲しい点があった。　・・・　1

スケート保育・・・1

・　5分でいいので、先生と子ども一人ずつのマンツーマンの時間を設けて欲しい。先生対全員だと子どもがポカーンとしたり、聞いてなかったり、滑り方のコツがわからなかったりしているので。

【幼稚園回答】

・　ご指摘の通り、先生対全員だと伝わりきれていない部分があることは園としても感じています。但し、現在の方法である習熟度別の場合、職員数の問題やお手伝いの人数の問題もあり難しさを感じています。お仕事をされている方が増えてきている中、これ以上お手伝いの人数を増やしていくことは考えていません。
・　今年度年少組のスケート保育の廃止も検討しましたが、『スケート保育』（＝氷上遊びを土台とした体験）は大人が思っている以上に子ども達に色々と感じることがあるのではないかということで継続することとした経緯があります。
・　「適当でいい」とは勿論思っていませんが、マンツーマンの時間をも設けることに重きを置き過ぎると、またスケート保育の内容も変わってしまうことになりますので、今までの保育内容を基本としつつ、子ども達に話を聞くように促したりしていくことに力を入れていきますね。
・　他によい方法がありましたら、助言を頂けたら参考になります。

雪中運動会・・・1

・　子どもが寒がり（痛がったり）、ちょっと可哀想な気がします・・・。
・　年少は種目が少なく、途中次の種目の準備中に遊び出し、種目どころではなかった。もう少しスムーズに次の種目など用意しておくなどの対応も必要ではないかと思います。

【幼稚園回答】

・　雪中運動会は、地域の特色を最大限に生かした行事の1つで、確かに寒いですがその地区で生きていく、過ごしていくという意味では大切なことと考えております。（雪が降らない場合はどうしようもないことなので、その際は残念ながら中止としておりますが）
・　そのような中、28年度から3種目は年少さんにとっては長い（多い）のではということで、2種目のみと変更しました（参加競技を減らしました）。寒がっているからと言ってこれ以上種目を減らすことは考えておりませんので、気温や風の有無によって寒さ対策として靴下をさらに履く、厚手のものにするといった

対応をお願い出来ると大変ありがたいです。

- 子ども達の気持ちが切れてしまうことの無いように、スムーズな司会進行や段取りはご指摘の通り我々が最大限努力すべき点で、その点については職員会議でも既に反省点として話しましたが、どの行事にも当てはまる大切なことだと位置付けています。

豆まき会・・・1

- 子どもが、鬼が「大人の人が変装してる」ってすぐに分かったから面白くなかったと言っていた。もう少し肌が見えないように変装してくれると良いです。

【幼稚園回答】

- このご意見には「そういう子もいるのだなぁ」と職員間で話し合ったほどです。結論から述べると、『29年度豆まき会から、鬼は職員（男の先生）が行います。しかも、明らかに先生であることが分かるような格好で行います。
- 経緯を伝えますと、当時は真っ暗にして、顔も肌も全く見えないほどの変装を学生にしてもらっていました。しかし怖がる子が多過ぎたり、行事以降の日々の生活に支障が出てしまう子が出るほどだったので、少し肌を見せたお面に変えました。
- それでも、ここ数年は拒絶する、参加への不安を強烈に訴える子が増えてきましたので年度末反省会にて『29年度から男の先生が鬼役』としたのです。
- このご意見とは真逆の方向に向かっていることとなりますが、節分に『豆まき』という日本の伝統行事を行い、「心の中にある鬼を追い出す」というねらいを達成することをメインに考えています。

すもう大会・・・1

- 年中でも女子・男子の力の差があり、分けても良いのではないかと思いました。

【幼稚園回答】

- このご意見は過去にも挙がったことがあります。その時にもお答えさせて頂いたのは、
園児数によって状況がかわるので、幼稚園が練習を通じて判断をさせて頂くというものでした。
- またここ数年、年中さんで男女混合トーナメントで女の子が優勝していることもあり、そのあたりも一概に言い切れない難しいところです。

Q3. 職員【教職員・バス運転手】の対応について　無回答あり

1. とても良い　・・・ 19
2. 良い　・・・ 5
3. ふつう　・・・ 2
4. あまり良くない
5. 悪い

- 笑顔
- 明るい挨拶が気持ち良いです。
- 担任の先生が乗っている時は先生も子どもに声掛けをしていて、乗っていた子ども達の笑顔が絶えなかった。
- 笑顔で優しく迎えてくれます。バスをとめる所も雪がない所にとめてくれていました。気遣いに感謝しています。
- 子どもがバスに乗りたがらない場合も一緒に待ってくれたり、いつも皆さん感じが良く、
とても助かっています。
- ピンクバスの運転手さんはいつも安全運転で会釈もして下さる。ありがたいです。
- 皆さん、いつも丁寧で明るく、安心して任せられます。

- 子どもに寄り添って対応して下さった。
- 子どもがお休みした時に電話をくれる等いつも気にかけてくれる。
- １日何があったか、成長している点を教えて下さり安心します。
- 臨機応変に対応して下さってとても助かっている。
- いつも親身になって相談にのってくれること。
- いつもにこやかに接して下さってありがとうございます。
- いつも笑顔で子ども達と仲良くしてくれていて感謝です。
- いつも子ども達を盛り上げてくれる。
- お忙しいはずなのに、子ども一人一人の様子を覚えていて教えて下さるのには、感服致します。上戸さんもいつもありがとうございます。
- 幼稚園時代に信頼できる大人に出会えることって大事な気がするのでふぞく幼稚園にしてよかったです。
- 我が子の登園拒否の際、朝電話をして下さったり、相談にのって下さったりとても親身になって下さいました。
- 子どもの気持ちに寄り添った対応は安心出来ます。職員全員が同じ方向（志し）でいるのが良いと思います。
- 雪かきをしながらバスを待つことが多いのですが、バスが来た時には雪かきが楽しくなってしまい、すんなりバスに乗らないことも多いです。そんな時、「あれー、今日はお楽しみのビンゴ大会じゃなかった？」と違うクラスの保育内容を把握していて上手に声掛けしてくれる先生の神様のような対応に感心します。ありがとうございます。

【幼稚園感想】

- 子ども達の支えとなっている保護者の皆様に先生方やバスの運転手さんについて褒めて頂けるのは本当にありがたいことで、やはり励みになります。と同時にこの気持ちを裏切ることの無いように今後もより上を目指して接していく心掛けが大事だと考えています。

Q4. その他幼稚園に対するご意見や要望等（行事以外のこと）があれば、遠慮なくご記入下さい。

書くスペースがない場合は、裏にご記入下さい。

- たまにブログ等で小学校の行事のことを書いていますが、清明小のことばかりで、他の先生方も清明小に来ていた内容を見ると、他の小学校に行かれているのかと不安になります。卒園児の中には、清明小以外の子もいるのに、清明小のことばかりではどうかと思います。城山・湖畔・武佐小の子達もいると思うので、その子達にも目を向けてみては？と思います。せめて1年生の時だけでも、ちゃんと行ってあげてはと個人的に思いました。

【幼稚園回答】

- 先にブログでもこの件についてはお知らせさせて頂きましたが、園長が我が子の行事に参加している関係で清明小学校のみの内容となっていますが、先生方は休日も返上して運動会では他の小学校も全て回っていますのでご安心下さい。

- 母親学級（＝母親教室）という名称は、育児学級とか園長講話などに改めた方が良いように思う。父親は行かなくていいものでしょうか？ちょっとネーミングが時代にそぐわないし、『母』の負担感をあおっているように聞こえる。

【幼稚園回答】

- これについてはごもっともだと思います。母親だけが育児について関心をもって学べば良いという時代ではありません。共働き世帯が専業主婦世帯を上回っている時代です。名前だけ変えれば解決するとは全くおもっていませんが、『意識』の問題としては意味があるので、29年度から遅まきながら『園長の

お話』と変えさせて頂きました。勿論、お父様が参加することも可能です。

- 給食配膳は2名いれば十分に思う。そのかわり、欠席の際は「代役を自分で探す」を休む方は取り組むべき。ちなみにほとんど全休の方がいた。ほぼできないなら次年度は別の係になった方が良いと思う。

【幼稚園回答】

- この意見については検討をさせて頂きましたが、ゆとりをもって対応出来るということで、引き続き3名体制で募らせて頂きました。
- このお手伝いの担当が決まった後に、仕事を始めた方や諸事情で動けなくなった方もいましたが、基本としては、ご指摘通り休む場合は自分で探して頂くという考えです。
- 新年度から名札は1枚になったのですね。何故ですか？ちなみに名札は右胸・左胸どちらにつけるのが正しいのでしょうか？

【幼稚園回答】

- 今回、新制度への移行に伴い、年額で保育料が上がる方が多数いるということを踏まえて、『少しでも負担を減らしていこう』という考えから、新年度用品の購入について大きく見直しをさせて頂きました。
- 道具箱等の用品で兄姉や友達の物を使用することを認めたのがその1つです。その際に、職員間で名札について話し合いをしました。2枚の理由は、園児服にもつけてもらい、更にその下に来ている私服にもつけてもらうというのがもともとの考え方でした。がここ数年園児服を着用してくる子が減ったこともあり、『今更ですが、1枚でも良いのでは？』ということになり、ふぞく祭と秋の遠足の時に名札を2枚使用していますが、その時は他の方法で対応しても問題がないということで決定しました。
- 右胸と左胸の件ですが、ふぞくでは、右胸につけるようにお願いしています。これはもし万が一名札の針の部分が外れた時の危険回避を想定して右胸とさせて頂いています。
- メロンカップを毎日持ち帰っていますが、家で開けることもないので、出来れば園に置いておいて欲しいです。

【幼稚園回答】

- 子ども達に人気のビーズ探し遊びのビーズ入れとしてアイスのカップ（メロンやりんごやミカンのカップ）を一人1個あげています。
- 園に置いておくことも可能ではありますが、「ビーズがなくなっている」ということがあったので、『大切なものならば、持ち帰ろう』ということになりました。
- もし、なくなっても「気にしない」というならば園に置いておくという対応も可能です。
- 色々な風邪等流行ってくる時期、幼稚園側ではどのような対策をされていますか？家では手洗い・うがいは当たり前のようにさせてはおりますが、この間、幼稚園に行ったところ、もの凄く幼稚園内が乾燥していてびっくりしました。温風ストーブで仕方がないのかもしれないのですが、あまりにも凄い乾燥で正直、インフル・胃腸炎が流行して当然だなと心配になりました。今時、スーパー等あらゆるところでアルコール消毒剤など置いてある中、幼稚園のどこにも見当たらなかったのも衛生面で心配になりました。

【幼稚園回答】

- まず、ふぞく幼稚園の湿度対策は、①朝日直の先生が大判のバスタオルを洗濯機で濡らして、軽く脱水をかけて、そのバスタオルを各クラスの物干し竿にかけて、さらに各部屋の空気清浄器（加湿機能つき）もこの時期はフル稼働しています。
- ですが、ご指摘の通りふぞく幼稚園は温風ストーブであること、朝の自由遊びの濡れたスノーウェアを午後の自由遊びまでに乾かす為にストーブをつけたままにしていることでお部屋が乾燥しています。湿度40%をキープするのは大変難しい状態です。
- スーパー等のアルコール消毒に関しては、幼稚園の入口等に常備しておくと子ども達が使い過ぎてしまうこと、それで遊んでしまう子がいることも予想されるので、手洗い・うがい後、お部屋に戻ってきた園

児に『インフルエンザ・ノロウィルス対策と同時に子どもの口に入っても安全・安心という水＝弱酸性次亜塩素酸水』のスプレーを先生が直接手にかけています。

・ １学期アンケートの中での水分補給のことですが、今一度熱中症対策の水分の取り方を見直して頂きたいと感じました。朝から幼稚園に行って遊び始め冷たい水や麦茶を用意して飲ませるのはお弁当の時ですか？水筒についても習慣化してしまえば飲みすぎるということもなくなると思うのですが？また飲みすぎたとしても何か困ることはありますか？トイレが近くなる、おもらし等先生方の手を煩わしてしまうということで水筒はダメなのでしょうか？熱中症対策の飲み物をストックしてあるとのことですが、具合が悪くなってからの対策では遅くないでしょうか？水筒を持ってきてはダメという幼稚園初めて聞きました。もう少ししっかり考えて欲しいなと1学期のアンケートの回答を見て思いました。

【幼稚園回答】

・ １学期の回答が言葉足らずですみませんでした。改めてお伝えしますと、子ども達に水を飲ませるタイミングは、登園からお弁当の時まで無いのではなく、朝の自由遊び後に一度手洗い・うがいの時間帯に声を掛けています。保育の内容によっては（例えば遊戯室で体を動かす遊びをした場合）途中で水飲みタイムを設けることもあります。設定保育終了後に再度手洗い・うがいの時間を設けているのでそこで水分補給をすることが可能です。

・ 自由遊び中に喉が渇いた子は、自由に水飲み場で水分補給をすることも可能で、コップに関しても各自持ってきているので、いつでも飲むことは可能となっています。

・ ふぞく幼稚園の課題としては、各保育室内に水飲み場がないことです。朝の会が始まった後に、飲み忘れやのどが渇いた場合に一度お部屋から出て飲みにいかないといけません。子ども達の中には、「喉が渇いたとしても自分から先生にそのことを言えないで我慢している子がいるのかもしれません」そこは配慮が必要な点だと思っています。

・ と同時に、この時期の子ども達の特徴として、誰か一人「水飲みにいく」と言ってそれを認めると、「僕も私！！私も！！」となりがちです。我々職員も水分補給の大切さを感じているので、「問答無用でダメです」とは言いませんが、やはり収集がつかなくなることに対しては良いとは考えていません。だからこそ、トイレ同様、先に済ませておく、飲んでおくということを子ども達に伝えています。ただし、これも経験を通じて学んでいくものだということも重々承知していることもお伝えしておきます。

・ トイレが近くなる、おもらしをするということではなく、水筒を持参すると子ども達が何かとそちらに気が向いて水筒で遊びだす、触ったりしてしまう、飲もうとする（＝子ども達と約束をしたとしても）ことを想定したから水筒持参を認めませんでした。

・ 釧路市内の幼稚園にも水筒持参について確認をさせて頂いたところ、一部の園では水筒持参としているところもありましたが、ふぞく幼稚園同様、遠足の時のみで普段は幼稚園の水道を各自のコップで対応している園も多数ありました。

・ 今後、本州のようにさらに気温と湿度が上昇する場合は、対策も必要だと思っていますが、ふぞく幼稚園の子ども達の状態像を踏まえると、水筒持参にするのではなく、職員がしっかり声を掛ける方に力を入れていくべきだと思っています。

・ また、お子様が園生活や園外保育の際に『水が飲めなかった』とお家で伝えた場合は、遠慮なく園までお知らせ下さい。（園外保育の際、もっと自由に水を飲めるようなスタイルにすることも必要かと他園の情報を聞いて感じました）

・ 諸先生方、1年間本当にありがとうございました。沢山のご苦労があったと思います。幼稚園教諭の指導の範疇を超えているように感じられる子どもについては、園側から保護者へ申し入れる場合はあるのでしょうか？早期に関わり方を見直せるよう、入園願書に、子に気になる点がある場合、園から申し出を希望するか『〇』でもつける欄を設けてみてはいかがでしょうか？『〇』をした家庭については面談

するなど検討して欲しいです。

【幼稚園回答】

・ 子育てが大変難しい時代を迎えた現代社会において、幼稚園を始めとする幼児教育機関が担う責任や業務は急激に増えているのは間違いありません。
・ では、幼稚園等がその対応をしない場合は、どこが行うべきなのか、それを全て家庭の責任という一言で終わらせてしまうことで別な課題が生まれることも既に分かっているわけです。（虐待問題や育児放棄や保護者が病気になる）
・ 柿原個人の考えとしては、やはり幼児教育機関が中心となって子育て支援・保護者支援をする方向性は間違っていないと確信しています。但し、それをこの業界に任せるのならば、国は今後も今以上に職員の処遇改善・労働環境の改善を進めていくべきです。
・ 釧路のように、保育料を据え置きし続けて、職員の確保も出来ないまま、園長や主任が保育の補助に入らないと成り立たないような環境では、残念ながら問題はご指摘通り範疇を超えてしまうことでしょう。（ふぞくは、他園よりも職員配置数が多いですが、もっと少ない園が多々あります。主任が担任を兼務することも普通です。10年前のふぞくもそうでした。）
・ 初めての集団生活を通じて、子どもも親も保育者も色々な発見や気づきがあります。つまり、保護者が申し出を希望する、しないに関わらず、子ども達の様子は保護者に伝えていきます。その際に、ふぞくはじっくり時間をかける園でありたいと思っていますし、実際にそうしています。
・ 幼稚園に子どもの何もかも直せるだろうと期待するのは、保護者が期待しすぎ。先生達の負担が増すばかりで、待遇面が先生達のモチベーションに影響しないか心配です。

【幼稚園回答】

・ 20年前と比較をしたらびっくりするくらい業務は増えていると感じます。しかし、待遇はほとんど変わっていないと感じています。モチベーションが上がらないどころか、この業界を敬遠する人が増えていることを社会全体も知るべきですし、気をつけないと大変なことが起こることも想定すべきです。と同時に幼稚園業界だけではないです。日本全体がそういう傾向にあります。サービスを重視していかないと経営が成り立たないということでどうしても従業員に負荷が大きく掛かる仕組みになっているのを感じます。
・ といって、びっくりするくらい保育料を上げたら利用者の皆さんも困ることも承知しています。だからこそ、新制度への移行を決めたのです。と同時に認定こども園への移行も考えているのです。
・ 間違いなく言い切れることが１点あって、それは『ふぞくの先生方は子ども達の為に自分の身を削って頑張って下さっている』という事実です。園長として先生方に感謝しかないのは、その頑張りを知っているからと感じているからです。
・ お預かりをよく利用する場合、長期休暇中も着替え袋を園に残した方がよいのでは・・・と感じる。もしくは、皆と同じく一旦持って帰って、１セットだけ持参するとか。

【幼稚園回答】

・ すみませんでした。ここしっかり伝えてない点ですね。一度持ち帰りますが、長期休暇中預かり保育を利用する（１日だけではなく数日間）場合は持ってきてもらっています。夏休みから、この点をしっかりアナウンスします。
・ お友達から叩かれたり、嫌なことを言われたりと続いて最後まで解消されず残念だった。

【幼稚園回答】

・ 本当に申し訳ございませんでした。叩かれたり、嫌なことを言われたことを担任も知っていたにも関わらず、そのことに対して解消出来なかったというのは決してあってはならないことです。一担任の問題ではなく、園全体の問題です。
・ このようなことがあってはいけないのですが、もし「うちの子も・・・」という場合は些細なことでもまずご報

告をお願いしたいです。そしてそれに対して『園がどう考えているのか、どう対処していくのか、その後の様子はどうなったか』まで必ず保護者に連絡すべきことだと考えております。

・ なわとびの『切っちゃダメ』と決まっていますが、あまりにも長過ぎて結んでも扱いにくいそうです。せめて、年長サイズ（120センチ～130センチ）に切って結んで使えないでしょうか?
もしくは、長いままでも上手くまとめる方法を教えて欲しいです。扱いにくいことが苦手意識に繋がっている感じがします。

【幼稚園回答】

・ 年中の段階で跳べない子が、年中の後半にコツをつかんで跳べるようになることが多々あります。その際に切ってしまうと実はその後『ばってん跳び』や『X跳び』の時に短すぎて跳べなくなるのです。
・ 「自分の縄跳びで跳びたい！！」という子も勿論過去にもいましたから、その場合はこちらで結ばせていただいたりしたこともありますが、多くの場合は、魔法の縄跳び（＝初心者用縄跳び）を使って跳んでみるように声を掛けています。するとコツをつかんでリズムを体が覚えます。その後本当に色々な跳び方が出来るようになると、自分から「自分の縄跳びで跳んでみる」となることが多いようです。そうなると、それぞれの身長に合わせて結んであげれば良いと思っています。
・ 個別に園にご相談頂けたらと思います。上記の回答では上手くいかない場合もあるので。

・ お世話になりました。幼稚園に行く姿はとても生き生きとしていて、楽しんでいるようでした。ありがとうございました。
・ 以前よりは自分の意見を言えるようになった。園の先生・お友達のおかげだと思います。
・ ふぞく幼稚園で経験したこと、先生方やお友達との出会いは親子共々沢山の喜びを得ました。そう思わせてくれたふぞく幼稚園は素敵だなと思います。これからもいつまでも心に寄り添う幼稚園でいて下さい。先生方の努力と情熱に感謝でいっぱいです。

【幼稚園感想】

・ 上記のように言って頂けると、子ども達に真摯に向き合うことしか出来ないけど、それで良かったのかなぁ・・・と嬉しく思います。
・ 本当にありがとうございます。と同時に今後もそう言い続けてもらえるように頑張りたいと思います。